

趣 意 書

謹 啓 貴台におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりホッケー競技の発展について格別のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

栃木県のホッケーは、昭和55年開催の「栃の葉国体」を契機に普及し、以来、国体をはじめとする各種全国大会での上位入賞や2004年のアテネオリンピックから4大会連続で日本代表選手を輩出しており、栃木県のスポーツ振興に寄与しております。

昨年は、地元で開催されました第41回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会において、今市第三小学校区ホッケークラブスポーツ少年団（女子）が初優勝。そして、第74回国民体育大会においては、成年男子・少年男子が共に優勝し成年女子が第3位、少年女子が第5位となり、29年振り3回目の総合優勝を果たしました。

栃木県ホッケー協会としては、本年開催の東京オリンピックへの代表選手の輩出や2022年開催の第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の総合優勝に向け、今後その世代となる小中高生等の選手育成に力を注ぐ必要があります。

そこで、更なる一貫指導事業の充実や、両大会の際に主力選手となる「ターゲットエイジ」層にむけた強化、及びホッケーの魅力を伝える情報発信を進めてまいります。

しかしながら、その事業費等においては、関係機関からの協力及び援助はあるもの資金不足が懸念されるところです。

つきましては、この趣旨をご賢察の上、将来に向けた栃木県のホッケー競技の発展のため、ご協賛を賜りたく何卒お願い申し上げます。

謹 言

令和2年3月吉日

栃木県ホッケー協会

会長 大 嶋 一 生